

## 生成AIの活用方法 愛知淑徳大生学ぶ

ソフトバンク社員から

地域課題の解決を目指す  
愛知淑徳大の学生たちが生成人工知能（AI）の活用方法を学ぶ講座が25日、千種区の同大星が丘キャンパスであり、同大と提携しているソフトバンク（東京）の社員から14人が手ほどきを受けた。

「朝早く起きられない」との悩みを例題に、生成AIで解決策を導き出す流れを学習。「私にヒアリングして深掘りしてください」と入力し、生成AIの質問に答えることで、それぞれの実情に見合った対策を探し出せることを体験した。

スマホで生成AIとやりとりをする学生＝千種区の愛知淑徳大星が丘キャンパスで



豊田市で地域の魅力発信に取り組む2年の松原心美さん（20）は、中山間地の鳥獣被害に問題意識を持って参加した。「海外からの観光客向けに自動翻訳で案内しつつ、地域課題も知ってもらいたい」と話し、生成AIの活用に期待を寄せた。

2025年9月27日（土）中日新聞 市民版 14面より  
この記事は中日新聞社の承諾を得て掲載しています。